

市内医療機関の皆様へ

横浜市保健所長

古賀 伸子

インフルエンザの市内流行警報発令に伴う注意喚起について（依頼）

日頃から本市の感染症対策に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
本市では、第2週（1月7日～13日）の定点医療機関当たりの患者報告数が「37.03」となり流行警報発令基準(30.00)を超えたため、1月17日に市内にインフルエンザの流行警報を発令しました。

- ◆ 市内14区で警報発令基準を超えています。
患者報告数が50を超えている区（都筑区 55.83、瀬谷区 52.86、神奈川区 50.33）もあります。
- ◆ 学級閉鎖や学年閉鎖を行った学校等は、今シーズンの報告では第2週まで累計75件ですが、第3週（1月14日～20日：集計中）のみで、1月16日時点で小学校を中心に100件以上が報告されており、急増しています。
- ◆ 1月以降に報告された高齢者施設や保育園等での集団発生は46件、医療機関での院内感染事例は9件となり急増しています。

御多忙中のところ誠に恐縮ですが、各医療機関における感染防止対策を徹底するよう「別添」の対応について、貴会会員の皆様に御周知くださいますようお願いいたします。

<添付資料>

- 1 別添「施設への持ち込み防止策を徹底し、感染拡大防止策を更に強化
しまししょう！」
- 2 横浜市インフルエンザ流行情報 6号